

フッ素系上塗り剤

絶・耐候性 GF020

耐薬品性に優れ、薬品による腐食から躯体を守る

耐薬品性・耐久性に優れた塗膜を形成するフッ素系上塗り剤です。壁・床・機材などに塗布することで、薬品による腐食から長期間躯体を守ります。また、防汚性にも優れ、躯体表面の汚れも防ぎます。



主剤 4.2kg / 硬化剤 0.6kg

色調 調色(日塗工色番号で指定・受注生産)**目的** 屋外上塗り・耐薬品・防汚**用途** ・薬品による躯体などの腐食の防止
・躯体・外壁などの保護**容量** 4.8kgセット(主剤 4.2kg / 硬化剤 0.6kg)**混合比率** 主剤:硬化剤/7:1(重量比)**塗布面積** 約20~48㎡(100~240g/㎡:1~2回塗り)**乾燥膜厚** 50~100μm**塗り重ね可能時間** 1時間~7日**硬化時間** 約24時間**特長** 1. フッ素系塗料
2. 優れた耐薬品性・耐久性・防汚性**使用方法**

※【絶・耐候性GF020】は、上塗り塗料です。ご使用前に、下塗りを完了しておいてください。

- ①混合前に主剤を電動攪拌機などで粘度が均一になるまで攪拌してください。硬化剤は、缶を振ってからご使用ください。
- ②主剤と硬化剤を7:1(重量比)の割合で混合し、電動攪拌機などで2分程度よく混ぜ合わせてください。
※塗料は1時間程度(気温20℃の環境下での目安)で使い切れる量を混合してください。
- ③塗装は、刷毛・ローラー・エアレスガンを使用してください。
- ④使用後の容器・工具類は【APレデューサー】、またはラッカーシンナーで洗浄してください。

注意点

- 硬化剤混入後、通常はすぐに使用できますが、低温時(10℃以下)には、30分程度熟成時間を取り使用してください。
- 作業状況に応じて主剤・硬化剤を混合した重量に対し10%を限度に【APレデューサー】を使用し希釈してください。
- エッジ・ボルト部などは、あらかじめ刷毛などで先塗りをしておいてください。
- 開封後はしっかり蓋をして直射日光の当たらない冷暗所に保管し、お早めに使い切るようにしてください。

※塗布面積は目安です。被塗物、作業方法などで多少異なります。
※乾燥時間は、気温20℃・湿度60%の環境下での目安です。気温・湿度により異なる場合があります。

◆絶・耐候性GF020 標準仕様

工 程	塗料・塗布量・塗装方法
1. 素地調整	塗装面の汚れ（サビ、油、水分、ホコリ）を溶剤、サンドペーパーなどで除去
2. 下塗り	使用する下塗りの仕様に合わせ塗布及び乾燥
3. 乾燥	
4. 上塗り	絶・耐候性GF020塗布 50μm (刷毛・ローラー・エアレスガン)

◆性状

項 目	性 状
容器内の性状	主剤：各色粘ちよう液
	硬化剤：無色粘ちよう液
主剤・硬化剤混合比	主剤：硬化剤＝7：1（重量比）
乾燥膜厚	50μm
塗布量	100～240g/㎡
作業性	刷毛・ローラー・エアレスガン
塗り重ね可能時間	1時間～7日（気温 20℃・湿度 60%の環境下）

※下塗りにパワー防錆 EP039 を使用

◆塗膜性能試験データ

項 目	結 果	試験内容
付着性強さ	7.1【N/mm2】	建研式直接引張試験
引っかかり硬度試験	H	JIS K 5600-5-4 塗料の一般試験 第5部 塗膜の機械的性質 第4節 引っかかり硬度
促進耐候	光沢保持率 80%以上	JIS K 5600-7-7 促進耐候性試験 第7部 塗膜の長期耐久性 キセノンランプ法 4000時間(20年相当)
耐衝撃性	衝撃による変形で 割れ、剥がれを認めない	JIS K 5600-5-3 塗料の一般試験 第5部 塗膜の機械的性質 第3節 おもり落下性 6.Dupon式 500g 50cm
耐揮発油性	塗膜に膨れ、割れ 剥がれがない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 試験用揮発油 1号及び2号にそれぞれ24時間浸漬
耐液体性試験 (酸性)	塗膜に膨れ、割れ 剥がれがない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 60%硫酸溶液 室温 24時間浸漬
耐液体性試験 (中性)	塗膜に膨れ、割れ 剥がれがない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 3%塩化ナトリウム溶液 240時間浸漬
耐液体性試験 (アルカリ性)	塗膜に膨れ、割れ 剥がれがない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 10%水酸化ナトリウム溶液 240時間浸漬
耐屈曲性	異常なし	JIS K 5600-5-1 塗料の一般試験 第5部 塗膜の機械的性質 第1節 耐屈曲性 円筒形マンドレル法 10mm
冷熱サイクル試験	異常なし	JIS K 5600-8 塗料の一般試験 第8部 塗膜劣化の評価 -40℃ 3時間 → 80℃ 3時間 100サイクル

※試験の塗布量は標準的に使用する量で行っています。
実際の作業は、必要に応じ所定の塗布量・膜厚になるよう調整してください。

□掲載している内容の一部及びすべてについて、無断で転写、転用、編集、改変、販売などの二次利用を固く禁じます。
□掲載している内容は、予告なく変更する場合があります。

【開発・製造元】

ヒトの生命を守り ― あらゆるモノの再生・補強・延命化も

株式会社 染めQテクノロジー

〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地31
TEL:0280・80・0005(代) FAX:0280・80・0006(代)
<https://somayq.com/>

【販売元】